

## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成28年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 日東電工株式会社

コード番号 6988 URL <http://www.nitto.com/jp/ja/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高崎 秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画統括部長 (氏名) 山下 潤 TEL 06-7632-2101

四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

（1）連結経営成績（累計） （％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
29年3月期第1四半期	168,411	△17.1	11,741	△55.8	11,245	△58.0	6,867	△63.2	6,801	△63.4	△21,351	ー
28年3月期第1四半期	203,209	9.3	26,576	37.6	26,747	39.3	18,680	54.3	18,591	54.1	24,041	104.9

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	41.91	41.86
28年3月期第1四半期	112.57	112.42

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	％
29年3月期第1四半期	791,904	585,082	581,956	73.5
28年3月期	825,905	617,891	614,425	74.4

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	ー	70.00	ー	70.00	140.00
29年3月期	ー	70.00	ー	70.00	140.00
29年3月期（予想）	ー	70.00	ー	70.00	140.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	370,000	△11.0	40,000	△33.5	40,000	△33.0	30,000	△35.4	30,000	△35.1	184.85
通期	770,000	△2.9	90,000	△12.1	90,000	△11.8	70,000	△14.6	70,000	△14.3	431.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	173,758,428株	28年3月期	173,758,428株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	11,452,244株	28年3月期	11,465,543株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	162,297,618株	28年3月期1Q	165,157,763株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更 .....	4
3. 要約四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2016年4月1日～2016年6月30日)における経済環境は、米国を中心とした先進国では堅調に推移しました。中国などの新興国においても緩やかに回復する傾向にありました。一方、米国や英国における政治体制への懸念や中東諸国に起因した地政学的リスクの高まりなど、先行きには不透明感が残ります。国内では、急激な円高への進行が個人消費に水を差しました。

このような状況下、日東電工グループは、環境の変化に左右されない強固な事業基盤を実現するべく、事業ポートフォリオ変革やコスト構造改革へ従来以上に積極的に取り組んでおります。事業ポートフォリオ変革の中心であるメディカル事業では、核酸医薬の受託製造が、引き続き好調に推移しました。しかしながら、主力のオプトロニクス事業における光学フィルムや回路材の顧客在庫調整、および急激な円高等の影響を補うには至りませんでした。なお、中長期的な視点で取り組んでいる分子標的DDS(ドラッグ・デリバリー・システム)技術を用いた臓器線維症治療薬では、肝硬変治療において第2相b試験を計画しております。更に、肺線維症治療においても2016年度中のIND申請(新薬臨床試験開始届け)を予定しており、順調に進展しています。

以上の結果、売上収益は前第1四半期と比較し17.1%減(以下の比較はこれに同じ)の168,411百万円となりました。また、営業利益は55.8%減の11,741百万円、税引前四半期利益は58.0%減の11,245百万円、四半期利益は63.2%減の6,867百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は63.4%減の6,801百万円となりました。

## セグメント別の業績概況

## ① インダストリアルテープ

トランスポートレーション事業の自動車材料では、アジア向けワイヤーハーネス用結束テープやランプ用内圧調整部材が堅調でしたが、南米市場向け車体フレーム制振補強材で前四半期における需要増の反動があり、その影響を補えず、全体では低調に推移しました。航空機向けは、防錆材料が航空会社のメンテナンス部門で実績化しました。基盤材事業では、ハイエンドスマートフォン用両面粘着テープの在庫調整の長期化に加え、家電やOA機器用耐熱材が需要低迷した影響を受けました。工業用途全般に使用される汎用性の高い両面粘着テープや保護フィルムは、円高のため伸び悩みました。

以上の結果、売上収益は72,227百万円(8.3%減)、営業利益は5,272百万円(16.7%減)となりました。

## ② オプトロニクス

情報機能材料では、前四半期から始まったハイエンドスマートフォン用液晶パネルの大掛かりな在庫調整により、新型光学フィルムが影響を受けました。テレビ用液晶パネルでは、中国メーカーが依然、増産を続けている状況です。これに応ずるため、前年度下期からテレビ向けに新型光学フィルムを拡販して、シェアの確保を図っています。更に、2018年度を目途に前工程から新型光学フィルムを中国深圳で一貫生産することを決定し、6月に設備投資に着手しました。タッチパネル用透明導電性フィルムは、タブレットPCの需要低迷が継続しました。プリント回路は、HDD向けではパソコン市場の低迷、ハイエンドスマートフォン向けではパネルタイプの変更などにより低調に推移しました。プロセス材料は、中国系スマートフォンの台数増加を捉え、堅調に推移しました。

以上の結果、売上収益は89,328百万円(25.1%減)、営業利益は4,692百万円(74.8%減)となりました。

## ③ メディカル&amp;メンブレン

メディカル(医療関連材料)は、米国の核酸医薬グループ会社による受託製造が順調に拡大しており、業績を牽引しました。メンブレン(高分子分離膜)は、工場排水再利用や海水淡水化案件等を中心に、受注が堅調に推移したものの、円高の影響を受けました。

以上の結果、売上収益は13,800百万円(5.9%増)、営業利益は4,268百万円(85.2%増)となりました。

(参考) セグメント別の状況

(単位: 百万円 比率: %)

		前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	前年同期比
		売上収益	売上収益	
インダストリアルテープ	基盤機能材料	47,353	41,845	88.4
	トランスポー ーション	31,438	30,381	96.6
	計	78,791	72,227	91.7
	営業利益	6,329	5,272	83.3
オプトロニクス	情報機能材料	99,413	73,920	74.4
	プリント回路	14,183	9,719	68.5
	プロセス材料	5,742	5,688	99.1
	計	119,339	89,328	74.9
	営業利益	18,620	4,692	25.2
メディカル&メンブレン	メディカル	5,725	6,847	119.6
	メンブレン	7,305	6,952	95.2
	計	13,030	13,800	105.9
	営業利益	2,304	4,268	185.2
全社・消去	売上収益	△7,951	△6,945	—
	営業利益	△678	△2,492	—
合計	売上収益	203,209	168,411	82.9
	営業利益	26,576	11,741	44.2

※ 当第1四半期連結会計期間より、各セグメントの業績をより適切に評価するため、全社費用の配賦方法を変更しております。また、当第1四半期連結会計期間に行われたマネジメント体制変更に伴い、報告セグメントの分類に一部変更があります。前第1四半期連結累計期間数値は、当該変更を反映した数値を記載しております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ資産合計は34,001百万円減少し、791,904百万円となり、負債合計は1,191百万円減少し、206,822百万円となりました。また、資本合計は32,809百万円減少し、585,082百万円となりました。この結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の74.4%から73.5%になりました。

主な増減は資産では、現金及び現金同等物が11,382百万円、売上債権及びその他の債権が9,850百万円、有形固定資産が10,936百万円、棚卸資産が1,981百万円、それぞれ減少しました。負債では、仕入債務及びその他の債務が1,144百万円増加、社債及び借入金が1,443百万円減少、未払法人所得税等が572百万円増加、その他の流動負債が1,794百万円減少しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2016年4月28日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想を据え置いております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更  
該当事項はありません。

## 3. 要約四半期連結財務諸表

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2016年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	240,891	229,508
売上債権及びその他の債権	149,305	139,455
棚卸資産	88,499	86,517
その他の金融資産	8,662	8,505
その他の流動資産	14,894	15,820
流動資産合計	502,253	479,808
非流動資産		
有形固定資産	263,645	252,708
のれん	2,663	2,428
無形資産	10,634	10,170
持分法で会計処理されている投資	319	316
金融資産	7,869	7,236
繰延税金資産	29,146	30,262
その他の非流動資産	9,372	8,973
非流動資産合計	323,651	312,096
資産合計	825,905	791,904

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2016年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	96,145	97,289
社債及び借入金	3,395	1,952
未払法人所得税等	3,753	4,326
その他の金融負債	12,477	13,208
その他の流動負債	38,044	36,250
流動負債合計	153,817	153,026
非流動負債		
社債及び借入金	3,000	3,000
その他の金融負債	722	690
確定給付負債	47,594	47,680
繰延税金負債	349	264
その他の非流動負債	2,530	2,160
非流動負債合計	54,196	53,795
負債合計	208,014	206,822
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	26,783	26,783
資本剰余金	56,681	56,680
利益剰余金	559,351	554,793
自己株式	△51,016	△50,956
その他の資本の構成要素	22,624	△5,344
親会社の所有者に帰属する持分合計	614,425	581,956
非支配持分	3,465	3,125
資本合計	617,891	585,082
負債及び資本合計	825,905	791,904

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
売上収益	203,209	168,411
売上原価	141,634	122,276
売上総利益	61,575	46,135
販売費及び一般管理費	28,760	27,349
研究開発費	7,808	7,422
その他の収益	2,162	1,788
その他の費用	593	1,411
営業利益	26,576	11,741
金融収益	413	304
金融費用	224	808
持分法による投資損益 (△は損失)	△17	8
税引前四半期利益	26,747	11,245
法人所得税費用	8,066	4,377
四半期利益	18,680	6,867
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	18,591	6,801
非支配持分	89	66
合計	18,680	6,867
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	112.57	41.91
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	112.42	41.86

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
四半期利益	18,680	6,867
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動額	800	△351
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	4,199	△27,883
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動額	359	27
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	2	△10
その他の包括利益合計	5,361	△28,219
四半期包括利益合計	24,041	△21,351
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	23,929	△21,167
非支配持分	112	△184
合計	24,041	△21,351

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2015年4月1日残高	26,783	56,761	508,564	△31,232	51,139	612,016	3,760	615,776
四半期利益	—	—	18,591	—	—	18,591	89	18,680
その他の包括利益	—	—	—	—	5,338	5,338	22	5,361
四半期包括利益合計	—	—	18,591	—	5,338	23,929	112	24,041
株式報酬取引	—	△111	—	—	—	△111	—	△111
配当金	—	—	△10,734	—	—	△10,734	△259	△10,993
自己株式の変動	—	14	—	146	—	161	—	161
所有者との取引額等 合計	—	△97	△10,734	146	—	△10,684	△259	△10,944
2015年6月30日残高	26,783	56,664	516,421	△31,085	56,477	625,261	3,612	628,874

当第1四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2016年4月1日残高	26,783	56,681	559,351	△51,016	22,624	614,425	3,465	617,891
四半期利益	—	—	6,801	—	—	6,801	66	6,867
その他の包括利益	—	—	—	—	△27,968	△27,968	△250	△28,219
四半期包括利益合計	—	—	6,801	—	△27,968	△21,167	△184	△21,351
株式報酬取引	—	△0	—	—	—	△0	—	△0
配当金	—	—	△11,360	—	—	△11,360	△155	△11,516
自己株式の変動	—	△0	—	59	—	58	—	58
その他の資本の構成 要素から利益剰余金 への振替	—	—	0	—	△0	—	—	—
所有者との取引額等 合計	—	△0	△11,359	59	△0	△11,301	△155	△11,457
2016年6月30日残高	26,783	56,680	554,793	△50,956	△5,344	581,956	3,125	585,082

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	26,747	11,245
減価償却費及び償却費	12,091	12,349
確定給付負債の増減額	12	621
売上債権及びその他の債権の増減額	16,707	942
棚卸資産の増減額	△1,379	△2,766
仕入債務及びその他の債務の増減額	539	2,878
利息及び配当金の受入額	377	265
利息の支払額	△199	△126
法人税等の支払額又は還付額	△18,303	△3,743
その他	△7,048	2,644
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,544	24,309
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△15,634	△11,063
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	56	55
定期預金の増減額	△1,541	1,388
その他	11	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,108	△9,629
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	△455	△1,175
自己株式の増減額	△1	0
配当金の支払額	△10,734	△11,360
その他	△262	△155
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,453	△12,691
現金及び現金同等物に係る為替換算差額の影響額	1,984	△13,371
現金及び現金同等物の増減額	2,965	△11,382
現金及び現金同等物の期首残高	214,559	240,891
現金及び現金同等物の四半期末残高	217,525	229,508

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自2015年4月1日 至2015年6月30日)

(単位:百万円)

	インダスト リアルテー プ	オプトロニ クス	メディカル &メンブレ ン	合計	調整額	要約四半期 連結損益計 算書計上額
外部顧客からの売上収益	75,217	115,301	12,356	202,875	333	203,209
セグメント間の売上収益	3,573	4,038	673	8,285	△8,285	—
セグメント売上収益合計	78,791	119,339	13,030	211,161	△7,951	203,209
営業利益合計	6,329	18,620	2,304	27,254	△678	26,576
金融収益						413
金融費用						△224
持分法による投資損益 (△は損失)						△17
税引前四半期利益						26,747

(注) 当第1四半期連結会計期間より、各セグメントの業績をより適切に評価するため、全社費用の配賦方法を変更しております。また、当第1四半期連結会計期間に行われたマネジメント体制変更に伴い、報告セグメントの分類に一部変更があります。前第1四半期連結累計期間数値は、当該変更を反映した数値を記載しております。

## (各セグメントの主要製品)

事業区分	主要製品
インダストリアルテープ	基盤機能材料(接合材料、保護材料等)、自動車材料
オプトロニクス	情報機能材料、半導体用材料、プリント回路、プロセス材料
メディカル&メンブレン	医療関連材料、高分子分離膜

当第1四半期連結累計期間(自2016年4月1日 至2016年6月30日)

(単位:百万円)

	インダスト リアルテー プ	オプトロニ クス	メディカル &メンブレ ン	合計	調整額	要約四半期 連結損益計 算書計上額
外部顧客からの売上収益	68,802	86,295	13,016	168,115	296	168,411
セグメント間の売上収益	3,424	3,032	784	7,241	△7,241	—
セグメント売上収益合計	72,227	89,328	13,800	175,356	△6,945	168,411
営業利益合計	5,272	4,692	4,268	14,233	△2,492	11,741
金融収益						304
金融費用						△808
持分法による投資損益 (△は損失)						8
税引前四半期利益						11,245

(各セグメントの主要製品)

事業区分	主要製品
インダストリアルテープ	基盤機能材料(接合材料、保護材料等)、自動車材料
オプトロニクス	情報機能材料、半導体用材料、プリント回路、プロセス材料
メディカル&メンブレン	医療関連材料、高分子分離膜

(重要な後発事象)

該当事項はありません。